

### 皆が聖霊に満たされた

(使徒2:1-4)

#### 一、父の約束なる聖霊降臨

エルサレム市街に入ると、使徒たちは泊まっていた屋上の部屋に上がり、熱心に祈りました。主が次のようにおっしゃったからです。「見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい」と(ルカ24:49)。

主は再度語られました。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです」と(使徒1:4b-5)。

こうして2章1節につながります。

〈五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。〉と。最初に聖霊が降ったときの様子が次のように記されています。2節、3節です。〈すると天から突然激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまっていた。〉と。使徒の働きを記したルカは、直接の目撃者ではありませんでした。ということ、ルカはそこに居合わせなかった、使徒たちを始めとする人々の証言

を下に、記したのであります。ですから、この記述には複数名、それも百二十名以上の証言が根底にあると受け止める必要があります。神が為さることは、私共の想像を遙かに超えています。ルカは紛れも無く、この出来事こそ、父の約束であり、使徒たちと弟子たちが聖霊によるバプテスマを受けたことであつたとして、記しています。

聖霊が降るとどうなつたでしょうか。4節です。〈すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。〉とあります。語ったことばが他国のことばであり、しかも神のみわざを語ることばであつたのは、使徒たちには知る由もありません。五旬祭に集まつて来ていた、離散したユダヤ人たちの証言によりです。ですが、語った側からするなら「異言」でした。聖霊が降り、使徒たちと弟子たちが聖霊のバプテスマを受けたことの結果は、異言現象でした。

#### 二、「終わりの日に」とは

時に、使徒たちは立ち上がり、ペテロは聖霊に満たされて声を張り上げて語りました。2章16節、17節を見てまいりましょう。〈これは、預言者ヨエルによって語られたことです。『神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は

夢を見る。〉。ペテロは、きょう起きている現象は預言者ヨエルによる預言の成就であると語りました。ちなみに、この時ペテロは何語で語つたのでしょうか。ガリラヤ出身のペテロは、おそらくギリシア語を話さなかつたでありましょう。ということは、ペテロが語つたことばはヘブル語かアラム語でありましょう。使徒の働きに記されているのはギリシア語です。

そう考えますと、17節に大きなメッセージが隠されていることが分かります。〈神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。〉という、預言者ヨエルのことばです。ところが旧約のヨエル書を見ますと、次のように記されています。ヨエル書2章28節です(新共同訳、聖書協会共同訳は3章1節です)。〈その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。〉と。ヨエル書では〈その後〉です。ところが、ペテロが語つたことばとして記されているのは〈終わりの日に〉です。なぜペテロは、というよりもルカは、

〈終わりの日に〉と語つたのでしょうか。ご存じのように、旧約聖書はおおよそヘブル語で書かれています。これをギリシア語に翻訳した「七十人訳聖書」というものがあります。そちらに何と書かれているのかを調べてみますと、〈このことの後〉です。ということは、ルカは七十人訳聖書から引用したので

はなく、使徒ペテロが語らんとしたこととを汲み取り、〈終わりの日に〉ということばにしたことが分かります。しかも、〈終わりの日に〉の「日」は、複数形です。正確に訳すなら「終わりの日々」になります。ルカがペテロの語つた意図を汲み取って語つた「終わりの日々」とは何のことなのでしょう。それは、教会時代です。旧約の時代には覆いが掛けられていたので、預言者たちには分からなかつた時代です。教会時代は主イエス・キリストが、神から離れている状態にある私たち罪人を回復させるために、十字架で贖いの死を遂げられたことによつて可能となりました。

#### 三、異言の伴つ聖霊のバプテスマ

(おおかた玉川牧師の証しなので省略します。ユーチューブで視聴できます。)  
[https://youtube.com/live/nKK\\_T1J0is](https://youtube.com/live/nKK_T1J0is)

聖霊に満たされること、すなわち神の霊に満たされることとは、信仰生活が恵まれることの秘訣です。主イエス・キリストのことを伝えようとする際に、次から次にアイデアが浮かんでまいります。そういう意味で、信仰生活は楽しいものです。世にあっては様々に困難がありますが、聖霊はすべての困難を乗り越えさせてくださり、喜びと平安をもって支えてくださいます。

皆様、聖霊に満たされてください!

